


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立三鷹中等教育学校</b> 中等教育学校		中等教育学校									
	思いやり・人間愛(ヒューマニティ)を持った、社会的リーダーの育成											
基本情報	所在地	〒181-0004 三鷹市新川六丁目21番21号	電話番号	0422-46-4181								
	アクセス	(1) 京王線仙川駅から、三鷹駅、吉祥寺駅行バス約15分 (2) JR三鷹駅、吉祥寺駅から仙川駅行バス約20分 (3) 調布駅から杏林大学病院前行きバス約25分										
本情	特色ある教育活動 (学校設定科目等)	① 学力を充実させ、高い見識が習得できる学習活動 ② 自己の将来の在り方・生き方を見据えた系統的・継続的なキャリア教育 ③ 持続可能な社会づくり(ESD)に向けた資質・能力を育成する特別活動 ④ 伝統・文化の理解を基盤とした国際理解(グローバル)教育 ⑤ ICT機器を活用した授業、校外学習の事前学習・事後学習、食育										
		入学選抜情報	募集人員	一般枠:男子80人・女子80人、特別枠:なし								
本報	生徒在籍数	前期課程					後期課程					
		27年度	男子	7.2	28年度	男子	6.5	29年度	男子	6.1		
本報	主な学校行事	合唱祭(6月)、文化祭(9月)、体育祭(9月)、校外学習、校内留学、海外ボランティア、勉強合宿、海外修学旅行										
		主な部活動	サッカー部、野球部、硬式テニス部、水泳部、陸上競技部、バレーボール部、吹奏楽部					バドミントン部、剣道部、バスケットボール部、弓道部、ラグビー部、茶華道部				
制服	男子		制服	プレザー(紺)			制服	プレザー(紺)				
	女子		プレザー(紺)				プレザー(紺)					
本報	自律経営推進予算 29年度(単位:万円)	1,913	その他	東京グローバル10、ICTパイロット校、持続可能な社会づくり教育推進校、伝統文化教育推進校、スポーツ特別強化校								
	学校評価	授業や学校行事等の教育活動に関する満足度は全体的に高く、主体的に学習する態度が身に付いている。										
本報	ホームページ	<a href="http://www.mitachuto-e.metro.tokyo.jp">http://www.mitachuto-e.metro.tokyo.jp</a>										

目指す学校	(1) 将来の日本を担う社会的リーダーを育てる学校 (2) 高い見識と幅広い視野を培う学校 (3) 思いやりの心を持った豊かな人間性を培う学校 (4) 中高一貫教育校として、6年間の体系的な教育課程を実践する学校										
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今年度の重点目標 今年度の取組と自己評価

目標①	<b>学習到達度の目標を設定した学習指導の充実</b> ①学力推移調査・学力測定テストにおける目標値の達成度の分析にもづく基礎力向上の補習・講習を実施する。 ②外部機関による「生徒による授業評価」の分析結果をもとづく授業改善を図る校内研修を実施する。 ③ICT機器を活用した授業による能動的な学習姿勢の育成する。	①学力推移調査や学力診断テストの分析に基づき、前期課程対象の月曜補習を年間26講座・21週、後期課程対象の放課後補習を年間21週、前期課程及び第5学年対象の長期休日業中の講習を20時間、第6学年対象の講習・補習を年間71講座、それぞれ実施した。 ②外部機関による「生徒による授業評価」の結果分析報告会を年間1回、授業研究会を年間21回実施し、授業改善を推進した。 ③タブレットPCを用いて、教育用クラウドを通して事前課題(反転授業)や事後課題に取り組んだり、協働学習支援システムを活用して意見や解答を共有したりするなど、生徒のアクティブラーニングを支援・促進した。
目標②	<b>大学の先を見据えた進路指導の充実</b> ①系統的なキャリア教育(各ステージにおける論文作成等)の推進し、生徒が進路を主体的に決定する取組の実施する。 ②「志を高く持つ」進路指導を行い、国公立大学や難関私立大学(早慶上理)等への進路実現の拡大する。	①3つのステージそれぞれにおける論文作成とICTを活用した発表会を年間1回ずつ実施したり、のべ92の事業所と連携した職場見学(第1学年)や職場体験(第2学年)を実施したりすることを通して、生徒の職業観や学問に対する考え方を育むとともに、各自の将来に関する意識付けを行った。 ②国公立大学の合格者が42人、難関私立大学(早慶上理)の合格者が64人となった。
目標③	<b>国際社会でリーダーとなれる資質の向上</b> ①国際社会で主体的に行動できる人材育成(主権者教育、ボランティア精神、協働して問題解決に取り組む資質の育成)を実施する。 ②ALT・JETを活用した授業やオンライン英会話を実施し、英語でのプレゼンテーション能力を育成する。 (ESD推進校、東京グローバル10の取組の充実)	①模擬選挙、憲法出前授業、税務教室、模擬裁判員体験、財務教育プログラムなど系統的な主権者教育を推進するとともに、海外ボランティア研修やスポンサード・ウォークなどを通してボランティア精神を涵養するなど、生徒が国際社会において主体的かつ協働的に問題解決に取り組むことができる資質を高めた。 ②JET2人及びALT3人を活用したティーム・ティーチングを年間を通して実施したり、第3学年からオンライン英会話を実施するなどして、生徒の英語によるプレゼンテーション能力を育成した。また、一年間の学習成果の発表の場として、3月に英語学習発表会を第1学年から第4学年を対象として実施した。

数値目標	今年度の数値目標の内容											
			26年度	27年度	28年度	今年度	30年度	31年度	32年度			
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
	目標①	国公立大学、難関私立大学(早・慶・上・理)を合わせた合格者数			80名	79名	90名	109名	110名	106名	110名	110名
目標②	タブレットPCを活用した授業の実施率(%)					90%	70%	90%	90%	90%	90%	
目標③	中途退学者数			0名	6名	0名	6名	0名	2名	0名	0名	0名